

第 2 期八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定基本方針

1. 趣旨

本市は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、平成 27 年度から令和元年度を対象期間とした「八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」を策定し、人口増や人口流出抑制につながる各種事業に取り組んできた。

また、昨年度に、第 5 次八潮市総合計画（以下「総合計画」という。）の見直し時期である令和 3 年度に次期総合戦略の策定の年度を合わせることを目的として、対象期間を 2 年間延長し、平成 27 年度から令和 3 年度までに改定した。

国及び県においては、令和 2 年度から 6 年度の 5 か年を対象期間とした「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されており、本市においても引き続き将来の人口増や人口流出抑制につながる各種事業の推進を図っていく必要があることから、令和 3 年度に「第 2 期八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。

2. 第 5 次八潮市総合計画への統合

本市の現状として、総合戦略と総合計画の事業内容や進行管理に重複が見られ、二重管理の状態となっている。

また、令和 2 年度は第 5 次八潮市総合計画（以下「総合計画」という。）の点検年度であり、点検の結果を踏まえ令和 3 年度に改定することとしている。

総合戦略と総合計画は密接に連携していることや、これからは今まで以上に人口減少社会を見据えた対応が求められることから、第 2 期総合戦略は国及び県の第 2 期総合戦略との整合性を図りながら総合計画へ位置付けることで統合することとする。

3. 対象期間

令和 4 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで（4 か年）

4. 基本目標

人口増や人口流出抑制につながる取組は、切れ目なく推進していく必要があること、国及び県の第 2 期総合戦略の基本目標について大きな変更がなかったことから、現総合戦略で掲げている基本目標を踏襲することとする。

また、国の第 2 期総合戦略では、新たに「横断的な目標」として、SDGs や Society 5.0、多様な人材活躍の推進などが追加されたことも考慮し、策定することとする。

※参考：八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略基本目標

基本目標 1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり	（しごと）
基本目標 2	人や情報の交流による「住みやすさナンバー 1 のまち八潮」の発信	（ひと）
基本目標 3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり	（子育て）
基本目標 4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成	（まち）

5. 施策及び事業

総合戦略と総合計画は密接に連携していることから、第2期総合戦略の施策は、総合計画に掲げられている施策とするとともに、第2期総合戦略において取組む事業は、総合計画の実施計画に位置付ける事業とする。

なお、事業の選定にあたっては、特に人口増や人口流出抑制につながる効果的な事業とする。

6. 数値目標及び重要業績評価指標（KPI）

基本目標に掲げる数値目標は、定量的な数値を定め、KPIは総合計画の実施計画において各事業で定めた指標とする。

7. 進行管理（効果検証）

第2期総合戦略では、KPI（重要業績評価指標）を用いた進行管理を、総合計画の実施計画及び事務事業評価へ一元化することにより、効果検証を効率的に行うものとする。

8. 策定体制

（1）八潮市まち・ひと・しごと創生本部

副市長を委員長とし、総合戦略の策定及び、総合戦略の効果検証を行う。

（2）八潮市まち・ひと・しごと創生委員会

企画財政部副部長を委員長とし、総合戦略の原案策定等を行う。

（3）八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会

有識者等により構成され、第2期総合戦略の策定を審議する。

（4）八潮市振興計画審議会

有識者等により構成され、総合計画見直しに係る審議を行う。